

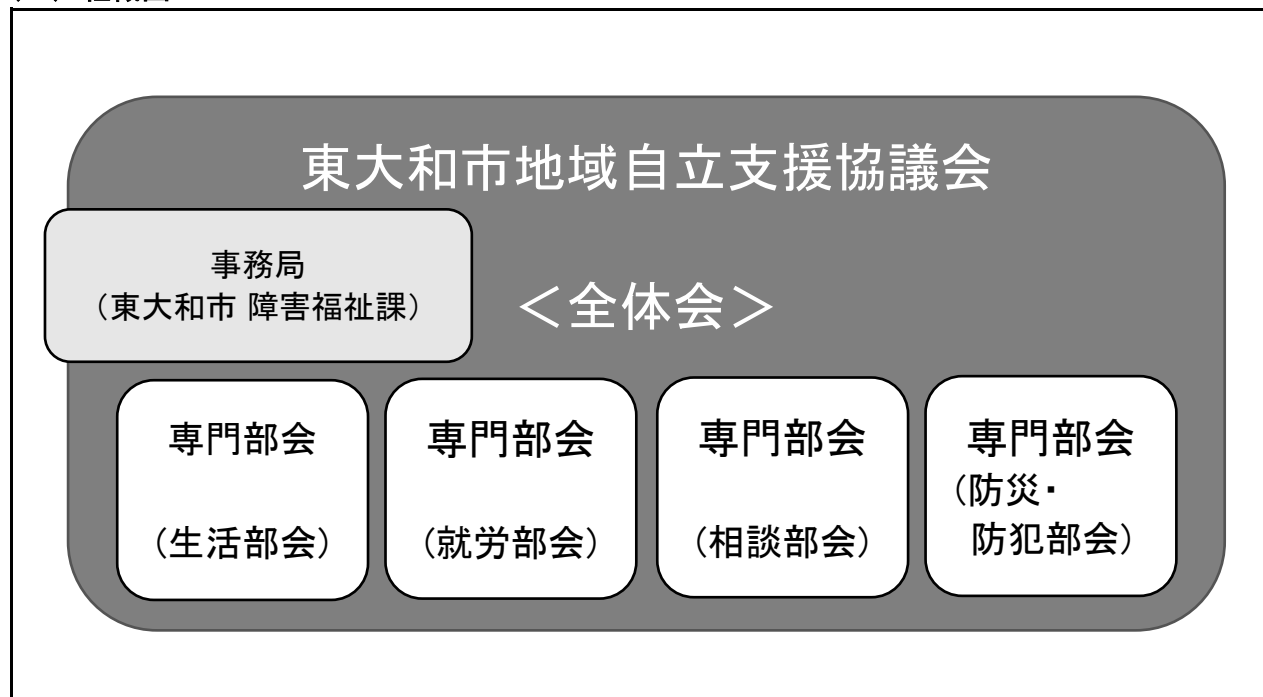
東大和市

1 地域自立支援協議会の基本事項

(1) 名称 東大和市地域自立支援協議会

(2) ホームページURL <https://www.city.higashiyamato.lg.jp/kenkofukushi/shogaisha/1003038/index.html>

(3) 組織図



(4) 会議実施方法等

ア 開催方法

全体会	集合形式	専門部会等	集合形式
-----	------	-------	------

具体的な内容

令和5年度はすべて集合形式。相談部会では一部ハイブリット。

イ 開催時間

全体会	平日日中（業務時間内）	専門部会等	平日日中（業務時間内）
-----	-------------	-------	-------------

具体的な内容

平日の午後1時30分が多い。

2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考	経歴年数
1		水谷 雅弘	東大和障害福祉ネットワーク	障害当事者（ピアサポーター含む）		
2		関田 留美子	特定非営利活動法人グループゆう	障害福祉サービス等事業者		
3		鈴木 一広	東大和精神保健福祉関係者連絡会	家族・関係団体		
4	会長	田中 海之	東大和市相談支援事業者連絡会	相談支援事業者		

No.	役職	氏 名	所 属	種 別	備考	経験 年数
5		山崎 聖弥	東大和市グループホーム事業所連絡会	障害福祉サービス等事業者		
6		中山 久栄	東大和市共同作業所連絡会	障害福祉サービス等事業者		
7		今野 初恵	つつじネットワーク	障害福祉サービス等事業者		
8	副会長	橋本 智保子	東大和市商工会	企業		
9		成島 公美子	立川公共職業安定所	雇用関係機関		
10		橋本 雅美	多摩立川保健所	保健所		
11		(欠員)	東大和療育センター	医療関係者		
12		星 菜々絵	村山特別支援学校	教育関係機関		
13		尾崎 智	羽村特別支援学校	教育関係機関		
14		尾又 斉夫	東大和市社会福祉協議会	社会福祉協議会		
15		井上 千秋	東大和市総合福祉センター	障害福祉サービス等事業者		
16		齋藤 知穂	東大和市精神障害者地域生活支援センター	障害福祉サービス等事業者		
17		飯島 裕子	民生委員・児童委員協議会	民生委員・児童委員		

※委員名簿に情報を記載できない理由

全体会と専門部会の変更等があり、履歴等の管理はしていないため、経験年数は空欄としました。

(2) 委員構成

種 別 \ 全体会・ 部会名	全体会	生活部会	就労部会	相談部会	防災・防犯 部会
学識経験者	0	0	0	0	0
医療関係者	1	2	0	0	0
保健所	1	0	0	0	1
教育関係機関	2	1	1	0	0
雇用関係機関	1	0	4	0	0
企業	1	0	2	0	0
障害当事者（ピアサポーター含む）	1	1	0	0	0
家族・関係団体	1	1	1	0	0
身体・知的障害者相談員	0	2	0	0	2
相談支援事業者	1	0	0	9	0
障害福祉サービス等事業者	6	7	4	0	3
社会福祉協議会	1	0	0	0	1
法曹関係者	0	0	0	0	0
民生委員・児童委員	1	0	0	0	1
地域住民	0	1	0	0	0
行政職員（区市町村）	0	0	0	0	3
行政職員（都）	0	0	0	0	2
その他	0	0	0	0	0
計	17	15	12	9	13

3 地域自立支援協議会の活動状況

(1) 地域自立支援協議会での協議事項（複数回答）

① 相談支援事業の運営体制に関すること。

基幹相談支援センター、主任相談支援専門員が中心となり、相談支援専門員スキルアップ研修を行った。また部会の中で事例検討を行い相談支援の質の向上に努めた。（相談部会）

② 就労支援に関すること。

令和5年度からの取組として、東大和市における「農福連携」について農業関係者、障害福祉サービス事業所等と協議を行った。また障害当事者向け就労セミナーを再開した。（就労部会）

④ 高齢者福祉サービスとの連携に関すること。

ケアマネットやまととの交流会を行い、障害者総合支援法と介護保険制度の連携について協議した。（相談部会）

⑧ 社会資源の開発及び改善に関すること。

前年度に引き続き、住宅入居支援、ゴミ出し支援、金銭管理支援等、制度の狭間で困難性の高い課題について、グループ毎に話し合いを行った。（相談部会）

⑨ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること。

令和6年4月から民間事業者にも合理的配慮が義務化されることから、民間事業者向けの差別解消法リーフレットの作成を行った。（生活部会）

⑭ その他（防災・防犯に関すること）

前年度に引き続き、ハザードマップに基づき市内事業所の協力のもと現地視察・マイタイムラインの作成を行い、「障害者・高齢者のためのマイタイムライン作成ガイドブック」作成に取り組んだ。（防災・防犯部会）

（２）地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

② 情報共有・情報発信

全体会公開研修会として「だれでも縁日」を開催し、縁日での出店を通して障害や障害者への理解を深めるための情報発信を行った。

③ 分野を越えてのネットワークの構築

地域自立支援協議会委員が地域生活支援拠点連絡会議の委員となり、他分野の関係団体との連携を強化した。

⑤ 地域課題の整理

各専門部会の活動から地域課題を抽出し、全体会で整理・検討し報告書としてまとめた。

⑥ 課題解決に向けての検討

各専門部会の活動から地域課題を抽出し、全体会で整理・検討し報告書としてまとめた。

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

第3次東大和市障害者総合プラン策定に際し、自立支援協議会全体会からの意見を徴取した。

（３）地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 個別の困難事例の把握・検討（複数回答）

② 専門部会やその他の各種連絡会等から検討が必要なものを取り上げている。

計画相談の中でニーズの高い地域課題を抽出し、住宅入居支援、ゴミ出し支援、金銭管理支援等、制度の狭間で困難性の高い課題について、集中的に検討を行っている。

イ 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

相談支援マニュアルの作成、相談支援専門員スキルアップ研修、相談部会における事例検討等（相談部会）

② 社会資源の開発及び改善

住宅入居支援、ゴミ出し支援、金銭管理支援等、制度の狭間で困難性の高い課題について、集中的に検討を行っている。（相談部会）

④ 高齢福祉分野との連携

ケアマネットやまととの交流会を行い、障害者総合支援法と介護保険制度の連携について協議した。（相談部会）

⑥ 緊急・災害等対応

ハザードマップに基づき市内事業所の協力のもと現地視察・マイタイムラインの作成を行い、「障害者・高齢者のためのマイタイムライン作成ガイドブック」作成に取り組んだ。（防災・防犯部会）

⑥ 緊急・災害等対応

災害時個別支援計画についての学習会を実施した。（相談部会、防災・防犯部会）

⑩ 就労支援

令和5年度からの取組として、東大和市における「農福連携」について農業関係者、障害福祉サービス事業所等と協議を行った。また障害当事者向け就労セミナーを再開した。（就労部会）

ウ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

特になし。

4 地域自立支援協議会の活性化

（1）地域自立支援協議会活動の評価

ア 全体会・専門部会等の評価

全体会	活性化した。	専門部会等	活性化した。
-----	--------	-------	--------

具体的な内容

令和4年度まではコロナ禍において、集合形式の会議や地域へ出る活動がセーブされたが、令和5年度においては、それ以前の活動に戻すことができた。

イ 活性化したと評価する理由

・全体会において、「だれでも縁日」を5年ぶりに開催し、多くの市民と障害のある人との交流を持てた。
・就労部会でも「当事者向け就労支援セミナー」を再開することができた。
・その他、差別解消法、農福連携、防災への取組等、障害者総合プランに掲げる取組項目について、自立支援協議会としての取組ができた。